

部局名	健康福祉部	所属名	児童発達支援センター	所属長名	佐熊 伸広	電話	488-1111
-----	-------	-----	------------	------	-------	----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3170	事務事業名称	児童発達支援センター運営事業				短縮コード	経常	3170	臨時		
予算区分	会計	01	一般会計	款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	05	心身障害児通園施設費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等	児童福祉法第43条及び第43条の3。八千代市児童発達支援センターの設置及び管理に関する条例。								
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
昭和48年、児童福祉法に基づく肢体不自由児通園施設マザーズホーム、昭和49年5月精神薄弱児通園施設 (現在知的障害児通園施設) 米本児童学園設置。昭和54年就学義務化に伴い、通所児童は就学前児童のみとなった。その後、平成7年4月両施設を統合し、「八千代市児童発達支援センター」とし、障害児の相談体制の充実を図り、総合的な障害児の機関として開始された。 事業内容は、入園児に必要な医療及び機能訓練ならびに日常生活の指導及び訓練、また保護者に対する助言指導を行っている。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱 (章)	01	健康福祉都市をめざして					
八千代市では人口も19万人を超え、全国的には少子高齢化が進展する中、本市では東洋高速鉄道の沿線整備等により乳幼児を中心に15歳未満の児童数が増加し、又東京女子医療大学八千代医療センターの開設もあり、療育を必要とする子どもの数も増加している。子育てに不安を抱える保護者が多くなったことも一因として相談件数が増加している。関係機関との連携を図り、早期発見・早期療育の充実が求められている。今後も相談は増え、障害児とその家族への支援の充実は必要になってくると考えられる。					大項目 (節)	02	社会福祉					
					中項目	03	障害者 (児) 福祉					
					小項目 (施策)	01	障害の発生予防・早期受診、治療					
					細項目	03	治療・療育体制の充実					
					実施計画の計画事業							
				計画事業の位置付けの有無	<input type="checkbox"/>	計画事業期間	～				計画事業費	千円

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	児童福祉法24条の3第2項及び27条第1項第3号、都道府県知事が認めた障害児。その家族。						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成20年度に実際に行ったこと: 1. 肢体不自由児に対するもの: 児童に必要な医療。機能訓練。日常生活技術・心身の発達に必要な個別的・集団的指導。児童及び卒園児への家族への支援。 2. 知的障害児に対すること: 日常生活の自立及び心身の発達に必要な個別的・集団的指導。機能訓練。児童及び卒園児への家族への支援。 ※平成21年度に計画していること: 同上。						
意図 (何を狙っているのか)	障害児が日常生活の自立に向けて、個々の発達に応じて設定された到達目標に近づくことができる。家族が障害を理解し、家庭内での障害の軽減化を図り、地域で自立した生活をするための援助や情報等を得ることが出来る。						
結果 (どんな結果に結びつけるのか)	入力対象外						
区分	単位	19年度	20年度		21年度		
		実績	計画	実績	計画		
対象指標	指標1 措置児人数	人	46	41	49	51	
	指標2 措置児世帯数	世帯	46	40	48	51	
	指標3						
活動指標	指標1 肢体不自由児に集団的指導を実施した日数	日	220	220	220	219	
	指標2 機能訓練を実施した延べ回数	回	219	200	305	300	
	指標3 知的障害児に集団的指導を実施した日数	日	220	220	220	219	
成果指標	指標1 個々の発達の到達目標に対する到達度	%					
	指標2 集団・個別的指導により児童が他の施設に移行できた人数	人	13	13	27	15	
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	3170	事務事業名称	児童発達支援センター運営事業			所属名	児童発達支援センター
	単位	19年度		20年度		21年度	
		実績	計画	実績	計画	実績	計画
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0
		県	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	2,108	835	0
		その他	千円	23,000	29,817	29,081	31,072
主な事業費の内訳		賃金 10,816千円		賃金14,149千円 賄材料費 4,971千円委託料 5,155千円		賃金12,849千円 賄材料費 4,968千円委託料 3,225千円	賃金14,217千円賄材料費5,097千円委託料 4,178千円
人件費 (B)		千円	111,312.7	110,570.4	112,492.8	112,492.8	
トータルコスト (A)+(B)		千円	134,312.7	142,495.4	142,408.8	143,564.8	

3. 事務事業の評価 (SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	児童発達支援センター運営事業は「障害の発生予防・早期受診、治療」のため「治療・療育体制の充実」にむけ推進しているため結びついている。			
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある				
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	障害児は年齢や発達に応じて他の施設（集団）に移行するため、毎年度違う対象（児・集団）となることにより、継続的に事業を運営すべき事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	高度に専門的な療育サービス等を提供しようとする中で障害児等を対象とした福祉サービスの向上を担った事業であり、民間経営に預けた場合には経済性、専門性の面で現行以上のサービス提供は困難であると考えられる。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい	現状の「対象」・「意図」で結果に結びつく。				
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある				
		<input checked="" type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 両方可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 可能性がない				
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	記録の簡素化や統一化を検討し事務処理所要時間の短縮を図り、また療育と「ことばと発達の相談室」を一体化することにより、療育の機能充実を図っていく。			
		<input type="checkbox"/> 臨時的任用職員等の活用				
		<input type="checkbox"/> IT化等の業務プロセスの見直し				
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し	類似事務事業名称	1		実施主体(所管部署)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の方法		2		実施主体(所管部署)	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	平成23年度を初年度とする「八千代市第4次総合計画」等の位置付けや、国の社会保障審議会障害者部会において報告されている「障害児施設の一元化」や「地域への支援の役割の強化」など施設の在り方について検討するとともに、財政状況も十分考慮しながら、用地の検討も含め施設整備に取り組んでいく。				
	<input type="checkbox"/> ない					

コード	3170	事務事業名称	児童発達支援センター運営事業			所属名	児童発達支援センター																					
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input checked="" type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他		「個別訓練室」や「ことばと発達の相談室」をセンターと一体化し施設の規模・機能の拡充を行う事により、療育サービスの充実を図る。																							
			<input type="checkbox"/> 廃止(事業完了含む) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続																									
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経 費</th> </tr> <tr> <th>削 減</th> <th>不 変</th> <th>増 加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向 上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不 変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経 費			削 減	不 変	増 加	成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	不 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域療育サービスを充実するための、専門職員の配置・増員や施設の規模・機能拡充は、コストの増加は避けられない。		
		経 費																										
		削 減	不 変	増 加																								
成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>																								
	不 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																								
	低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																								

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
<p>①きめ細かな療育に伴う必要な専門職員の配置増希望が強い。</p> <p>②知的障害児の入園希望者の増加が定員（30人）を上回っていることから、早期療育充実の視点より、いつでもサービスの利用が可能となるよう、施設規模の拡充希望が強い。</p>	

所属長コメント	現状に合った定員の見直しや、個別訓練室の確保等及び「ことばと発達の相談室」を一体化することにより療育機能の充実が図られるため、施設整備について検討していく。		
評価調整委員会評価	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止(事業完了含む) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続		
	施設の規模・機能の拡充については、検討を行い方針を決定すべき。IT処理等については費用対効果等の検討を行うべき。		